

12 月 12 日：VN 指数は弱い勢い (VN-Index -0.12%)

- 今月中の利下げの機運が米国内で高まり、それに呼応して本日のVN 指数は前日終値を上回って寄り付いた。
- 市場では明確な方向感がなく、警戒感のある中でさまよった。
- 方向感が定まらない中でも銀行セクターの継続的な上昇が下支えとなり、前場では上昇圏での変動を維持した。
- しかしながら、後場では売り方が徐々に優勢になり始め、弱気な投資家心理が急速に拡大した。その後下落を続けて前日終値を下回ったところで大引けとなった。
- 151 銘柄が上昇、230 銘柄が下落、82 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 11.2%減の 13.5 兆ドンとなった。

VN30 指数も足並みそろえて下落 (VN-30 -0.07%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、11 銘柄が上昇、15 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずとなった。
- BVH (+1.34%)、HDB (+1.27%)、PLX (-1.25%)などが比較的大きな変動を見せたものの、その上下幅は小さかった。

セクター・個別株の動き

- SK グループが IMP (+3.13%)への出資比率引き下げのために株式の売却を模索しているといううわさが広がり、同社株は上昇した。
- GMD (+0.76%)はコンテナ取引が好調になるという Maersk 社による予想が好感された。同社はトランプ政権における関税政策によって恩恵を受けることも同時に期待されている。
- 外国人投資家は FPT (-0.20%)を中心に 2,860 億ドンを売り越した。一方で TCB (+0.41%)、HDB (+1.27%)には買いが集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。